



自由に使える工夫がいっぱい 世田谷キャンパス新7号館

TCUホール(1-2F)

仕切り壁を開ければ500人が収まる大ホールに！



建物中央に位置するTCUホールは、吹き抜け構造の大空間。当初は2つの教室とする予定でしたが、壁を可動式の間仕切りとし、かつ強度を高める工夫を凝らすことで、より多目的に使えるホールとなりました。普段は講義に使用しているほか、イベントスペースとして用いたり、大学行事のプレゼンテーション等に活用することを想定しています。最大収容人数は、なんと500人。学生が中の様子を窺えるよう、東西の2面をガラス張りになっているのも特徴です。



吹き抜けホールを実現するための“橋梁”構造

吹き抜けの大ホールを実現するために採り入れたのが、鉄道の橋梁などに見られるトラス構造。上階の3-4階に三角形が連続するトラスを設け、筋交いのように機能させることで、壁に頼らずとも十分な耐震強度を確保したといえます。4階・児童学科自習室の床面からトラスが突き出ているのは、このため。ちなみにホールの四方は外に面していないため、上階の一部がテラスとなっている天井に換気口を設け、自然換気できるようにしているそうです。



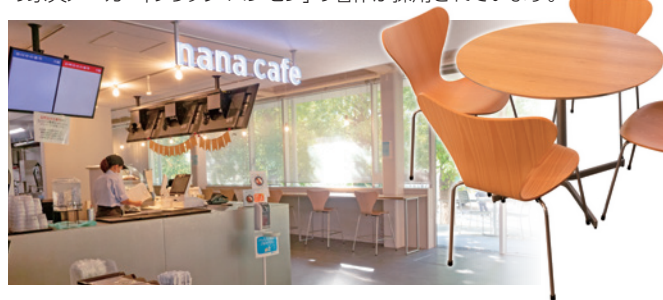
4F児童学科自習室に突き出たトラス



nana cafe(1F)

さまざまな学部が集う憩いの場

1階南側の「ナナカフェ」には、多くの学生たちが昼食や軽食をとりに集います。お手頃で美味しいと評判ですが、ここのテーブル&チェアには、実はデンマークの家具メーカー「フリッツ・ハンセン」の名作が採用されています。

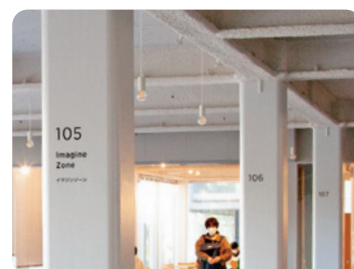


学生インタビュー

ナナカフェはお気に入りで、週に4回くらい来ています。今日食べたのは“小えびとビスコソースの Pasta”。どれも本当に美味しいです。



人間科学部 児童学科 3年 片岡瞳子さん



柱に数字が記してあるのはなぜ？

約6mスパンで並ぶ鉄骨の柱は、特殊な耐火塗料で白く塗装されています。そしてこの柱には、各々に番号の記載が。この数字、実は番地のように場所を示しているのです。

国際エリア (2F)

2階はグローバル教育の中心となるフロアです。ここには国際支援センターの事務室ほか、扇状の多目的プレゼンテーションゾーン、海外大学との調印式にも用いられる、独立した会議室などがあります。



国際支援センター 事務室



グローバルフロア

Sky Stair(3-4F)

TCUホール(1-2F)

nana cafe(1F)